

平成23年度 安房教育研究所役員一覧表

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|-----------------------|--------------------------|
| 顧 問 | 川 原 裕 二 | 千葉県教育庁南房総教育事務所 所長 |
| 運 営 委 員 長 | 青 木 和 詳 | 郡市小学校長会 会長 三芳小学校 校長 |
| 副運営委員長 | 義 道 俊 文 | 千教組安房支部 支部長 丸小学校 教諭 |
| 運 営 委 員 | 大和地紀昭 | 地教連 会長 館山市教育委員会 教育委員長 |
| | 三 幣 貞 夫 | 地教委 南房総市教育委員会 教育長 |
| | 青 木 和 詳 | 郡市小学校長会 会長 三芳小学校 校長 |
| | 下 妻 洋 也 | 郡市中学校長会 会長 館山第三中学校 校長 |
| | 滝 口 弘 | 千教研安房支会 会長 西条小学校 校長 |
| | 田 村 賢 一 | 教育会 鋸南代表 勝山小学校 校長 |
| | 早 川 紀 子 | 教育会 館山代表 豊房小学校 校長 |
| | 山 口 正 義 | 同 上 館山第二中学校 校長 |
| | 青 木 和 詳 | 教育会 南房総代表 三芳小学校 校長 |
| | 富 永 安 男 | 同 上 三芳中学校 校長 |
| | 鈴 木 和 之 | 同 上 丸小学校 校長 |
| | 佐 川 仁 | 教育会 長狭代表 太海小学校 校長 |
| | 川 名 稔 | 同 上 安房東中学校 校長 |
| | 金 房 努 | 安房地方小中教頭会 会 長 館山第一中学校 教頭 |
| | 石 井 雅 春 | 安房地方小中教頭会 副会長 田原小学校 教頭 |
| | 義 道 俊 文 | 千教組安房支部 支 部 長 丸小学校 教諭 |
| | 小 松 雄 志 | 千教組安房支部 副支部長 館山第三中学校 教諭 |
| 鈴 木 啓 史 | 千教組安房支部 教文部長 朝夷小学校 教諭 | |
| 会 計 監 査 | 岡 崎 靖 | 郡市校長会 代表 七浦小学校 校長 |
| | 唐 鎌 武 則 | 安房地方小中教頭会 代表 保田小学校 教頭 |
| | 庄 司 智 和 | 安房支部 代表 南三原小学校 教諭 |
| 所 長 | 速 水 一 郎 | 東条小学校 校長 |
| 主 任 主 事 | 小 熊 敦 | 館山第二中学校 教諭 |
| 会 計 主 事 | 渡 邊 毅 之 | 千教組安房支部 書記長 白浜小学校 教諭 |
| 庶 務 主 事 | 小 谷 佳 範 | 千教組安房支部 書記次長 曾呂小学校 教諭 |
| 書 記 | 鈴 木 浩 美 | 安房教育会館 書記 |

千葉県安房教育研究所 研究テーマ一覧表

*第21集1971(46)年度より, 調査研究部/教育研修部の2部制となる

| 紀要番号 | 研究年度 | 研 究 テ ー マ |
|------|------|--|
| 1 | 1955 | *安房地方における教育の現況 |
| 2 | 1956 | *地域条件と児童・生徒の実態に即した学習指導の研究 |
| 3 | 1957 | *安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 —児童・生徒の道徳意識と問題点— *安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 —教師の道徳観と道徳教育上の問題点— |
| 4 | 1958 | *安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 —道徳の時間の実態と問題点— |
| 5 | 1959 | *安房地方における科学技術教育の実態と問題点 —科学技術教育を身につけさせる理科指導— |
| 6 | 1960 | *科学技術を身につけさせる理科指導—仮説を導くための予備的実験— |
| 7 | 1961 | *思考過程に即した学習指導の研究—説明的文章の読解指導を通して— |
| 8 | 1962 | *思考過程に即した学習指導の研究—説明文読解指導を通して— |
| 9 | | *問題の子の診断と治療 |
| 10 | 1963 | *生活指導の資料 —生徒児童編— |
| 11 | 1964 | *生活指導の資料 —父兄教師編— |
| 12 | | *問題児の診断と治療(症例集Ⅱ) |
| 13 | 1965 | *観光地の子どもに与える影響について(第1集) |
| 14 | 1966 | *観光地の子どもに与える影響について(第2集) *安房郡市に於ける運動会白書 |
| 15 | 1967 | *出張とその対策 *特殊学級の現状 |
| 16 | 1968 | *安房地方に於ける学校の施設設備の実態について |
| 17 | 1969 | *学校における施設設備の効果的な管理・活用について |
| 18 | | *家庭教育の役割と学校教育 —家庭学習の実態とその問題点— |
| 19 | | *安房における教育論の探究 |
| 20 | 1970 | *家庭教育の役割と学校教育 *安房教育論の探究 *—教育用語— |
| 21 | 1971 | *家庭教育の役割と学校教育 —家庭の教育機能と養育態度— *安房教育論の探究 —教育工学— |
| 22 | 1972 | *安房地方における教科指導の評価 —教師と児童生徒の実態と問題点— *安房地方における教育現代化の動向をさぐる |
| 23 | 1973 | *安房地方における教科指導の評価 —実態と問題点(その2)— *変貌する学校と教師 |
| 24 | 1974 | *安房地方における教科指導の評価 —実態と問題点(その3)— *人間性回復の教育 —望ましい学習指導を求めて— |
| 25 | 1975 | *安房地方における特別活動の現状をさぐる *ゆとりある授業の探究 |
| 26 | 1976 | *特別活動の問題点をさぐる *個性・能力に応じた教育の探求 |
| 27 | 1977 | *豊かな教育をめざして—安房における特別活動の問題点とその解明— *基礎的・基本的事項とその指導 |
| 28 | 1978 | *望ましい習慣形成をめざして—基本的な生活習慣に関する意識と実態 *新しい学力観に立つ授業の創造 |

| 紀要番号 | 研究年度 | 研 究 テ ー マ |
|------|------------|---|
| 29 | 1979 | *望ましい習慣形成をめざして－基本的な習慣形成に関する問題点をさぐる－ *生き生きとした学校生活の実現－学校裁量時間とその活用－ |
| 30 | 1980 | *新教育課程の運用に関する研究－学校裁量活動時間の運用の実態－ *学習意欲の喚起とその必要性 |
| 31 | 1981 | *新教育課程の運用に関する研究－学校裁量活動時間の運用の実態（小学校）－ *集団の中で個の学習の成立をめざして |
| 32 | 1982 | *新教育課程の運用に関する研究 －安房地方における日課・時程表の運用の成果と問題点について－ *教科指導における新しい評価のとらえ方 |
| 33 | 1983 | *新教育課程の運用に関する研究 －安房地方における日課・時程表の運用の成果と問題点について（Ⅱ）－ *教科指導における新しい評価の実践－指導と評価の一本化をめざして－ |
| 34 | 1984 | *学ぶことの楽しさを体得できる授業の成立を求めて －安房子どものかかえる問題をさぐる－ *自己教育力を高める指導－学習意欲と学習技能を育てる指導－ |
| 35 | 1985 | *学ぶことの楽しさを体得できる授業の成立を求めて －やる気をおこさせる教師の役割と現状－ *自己教育力を高める指導－学習意欲を質的・層的に見つめて－ |
| 36 | 1986 | *学ぶことの楽しさを体感できる充実した学校の成立を求めて －子ども・保護者・教師のとらえた現状と問題点－ *個性重視の教育－教科指導の中で－ |
| 37 | 1987 | *安房の子どもの遊びの現状と問題点をさぐる *個性重視の教育－質的個人差を生かす学習指導－ |
| 38 | 1988 | *安房における親子ふれあいの現状と問題点 *魅力ある授業づくりを目指して |
| 39 | 1989 平1 | *安房における子どもどうしのふれあいの現状と問題点 *魅力ある授業づくりを目指して |
| 40 | 1990 平2 | *子どもと教師のふれあいの現状と問題点 *豊かな心を持った子どもの育成 |
| 41 | 1991 平3 | *安房における学校外での子どもの様子の現状と問題点 －特に地域とのふれあいに視点をあてて－ *豊かな心をもった子どもの育成－学校における心の教育の一考察－ |
| 42 | 1992 平4 | *学校週5日制に対応する学校教育のあり方 *たくましく生きる力の育成－学校教育における指導のあり方の一考察－ |
| 43 | 1993 平5 | *学校週5日制に対応する学校教育のあり方－子どもは学校に何を望んでいるか－ *たくましく生きる力の育成－学校教育における指導のあり方の一考察－ |
| 44 | 1994 平6 | *学校週5日制に対応する学校教育のあり方－今求められる教師像－ *安房地方における生涯学習のあり方を求めて－学校教育の役割の一考察－ |
| 45 | 1995 平7 | *あなたはどんな教師でありたいですか－学校週5日制をむかえて－ *安房地方における生涯学習のあり方を求めて－学校教育の役割の一考察－ |
| 46 | 1996 平8 | *魅力ある教師になりたいあなたへ －子どもの願いに応える教師として、自分をどう成長させていますか－ *「生きる力」を育む新学校像－ゆとりを生む教育課程のスリム化－ |

| 紀要番号 | 研究年度 | 研 究 テ ー マ |
|------|-------------|--|
| 47 | 1997 平9 | *「心の居場所」ありますか あなたの学級の子どもたち —どの子ども存在感・充実感をもてる学校・学級を目指して— *「生きる力」を育む学校を目指して —基礎・基本の充実と総合学習を通して— |
| 48 | 1998 平10 | *目の前の子ども 見えていますか?—安房の子どもたちの実態— *豊かな表現力をもった子どもの育成—言語による表現を中心にして— |
| 49 | 1999 平11 | *目の前の子ども 見えていますか?—安房の子ども達の規範意識— *自ら学ぶ子どもを育てる(その1)—課題設定までの教師の支援— *研究所ホームページの開設を目指して |
| 50 | 2000 平12 | *子ども達の規範意識の形成要因を探る —安房の子ども達のよりよい規範意識の形成に向けて— *自ら学ぶ子どもを育てる(その2)—体験を生かす支援のあり方— *安房らしいみんなが見たくなるようなHP作り |
| 51 | 2001 平13 | *学校と家庭・地域の連携を探る —これからの学校教育のあり方を求めて— *自ら学ぶ子どもを育てる(その3)—一人一人が生きる自己評価のあり方— *安房らしい、みんなが見たくなるようなホームページづくり |
| 52 | 2002 平14 | *自分のしたいこと 見つけられていますか? —年間165日の休日を持つ安房の子どもたちの実態からの考察— *確かな学力をつける学習指導のあり方 —評価を生かす指導の工夫— *広報活動活性化のためのWebページの充実 |
| 53 | 2003 平15 | *したいことを持てる子にどう育てていきますか? —安房の子どもと社会教育のかかわり— *確かな学力をつける学習指導のあり方 —「書くこと」の領域の指導に活かす評価の工夫について— *広報活動活性化のためのホームページの充実 |
| 54 | 2004 平16 | *育てていますか、子どもの心 —安房の子どもの心の成長と生活習慣や人間関係のあり方の考察— *「伝え合う力」をつける学習指導のあり方 —聞く力・話す力を高める指導の工夫を通して— *有効活用できるWebページの作成と学校Webページ作成及び公開のためのガイドライン策定 |
| 55 | 2005 平17 | *輝いていますか、子どもの瞳 —意欲のある子どもを育てるために— *「伝え合う力」をつける学習指導のあり方 —互いの立場や考えを尊重しながら対話しようとする態度を育てる指導の工夫— *有効活用できるWebページの作成 |
| 56 | 2006 平18 | *輝いていますか、子どもの瞳 —学習意欲のある子どもを育てるために— *自ら課題をつかみ見通しをもって学ぶ子どもの育成 —支援と評価の工夫— *魅力あるWebページ作り —ニーズにあった内容の充実を図る— |

| | | |
|----|-------------|--|
| 57 | 2007 平19 | <ul style="list-style-type: none"> *より好ましい生活を確立するために —安房の子どもの規範意識の現状を探る— *自ら学び続ける子どもの育成 追究過程の支援の工夫 *魅力あるWebページ作り —ニーズにあった内容の充実を図る— |
| 58 | 2008 平20 | <ul style="list-style-type: none"> *より好ましい生活を確立するために、 —安房の子どもの規範意識と行動の関係を探る— *思考力を高める学習指導のあり方 —筋道を立てて考える子どもの育成— *ホームページ閲覧数のアップを目指した内容の充実 —54年間の研究の再発見と今— |
| 59 | 2009 平21 | <ul style="list-style-type: none"> *より好ましい生活を確立するために —小中の接続をなめらかにするための有効な手立てを探る— *思考力を高める学習指導のあり方 —「書く」・「話す」活動を通して— *情報収集の場としての研究所HPの活用の方策を探る |
| 60 | 2010 平22 | <ul style="list-style-type: none"> *携帯電話の適切な利用に向けて —安房と全国の調査結果を比較して— *思考力を高める学習指導のあり方 —「書く」・「話す」活動を通して— *PCによるアンケート調査ソフトの活用を探る |
| 61 | 2011 平23 | <ul style="list-style-type: none"> *いきいきとした生活をするために —安房の子ども達の自己肯定感を探る— *活用する力を育てる学習指導のあり方 —基礎的・基本的な知識及び技能の習得を通して— *ホームページの充実に向けて —ホームページ閲覧数増加を目指すための方策の検討— |

あ と が き

来年度から、小学校・中学校ともに新学習指導要領が全面実施となります。今回の改訂では、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。授業時間の増加からも分かるように、子ども達の学力を向上させることが喫緊の課題となっています。そのためには学校だけではなく、家庭や地域との連携も欠くことができません。

その課題を踏まえ、安房教育研究所の本年度の研究が行われました。「安房教育発展のために、地域の教育振興に寄与する」という所員の熱い思いに支えられ研究が進められました。2月に行われた研究発表会・研究所の会では研究所OBの皆様はじめ、学校現場からも多数の参加を頂きました。

そして今回『研究紀要 第61集』を刊行するのはこびとなりました。しかし研究の視点から振り返りますと、十分とはいえない点が多々見られます。先生方や各教育関係機関の皆様には、忌憚のない御批正を頂きますようお願い致します。

最後になりましたが、本研究所の活動に対し、多くの方々から温かいご理解とご指導を賜りました。特に直接ご指導を頂きました千葉県教育庁南房総教育事務所指導室長 泉水洋二先生、千葉県教育庁南房総教育事務所安房分室主任指導主事 小野塚計一先生、健田小学校校長 小沢誠治先生、千葉大学教育学部教授 藤川大祐先生、そして各教育委員会、校長会、教頭会、各教育関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。 (主任主事 小熊 敦)

平成 23 年度 **研究紀要** 第 61 集

発行日 2012 年 3 月 31 日

発行者 **千葉県安房教育研究所**

責任者 研究所長 **速水 一郎**

編集者 主任主事 **小 熊 敦**

所在地 〒294-0045

館山市北条 2609-20

安房教育会館内

☎0470-22-0670